

◆ 単元名 「私たちの暮らしと現代社会」

◆ 本時の展開

<目標>

- ・これまでのルールについての学習の経験を生かし、「公園のルール作り」を行う中で、「みんなが楽しめる公園」のルールを話し合うことの意義に気付くことができる。
- ・効率と公正の観点から、話し合いを重ねながら対立から合意を得ていくことの必要性に気付くとともに、合意形成への努力ができる。

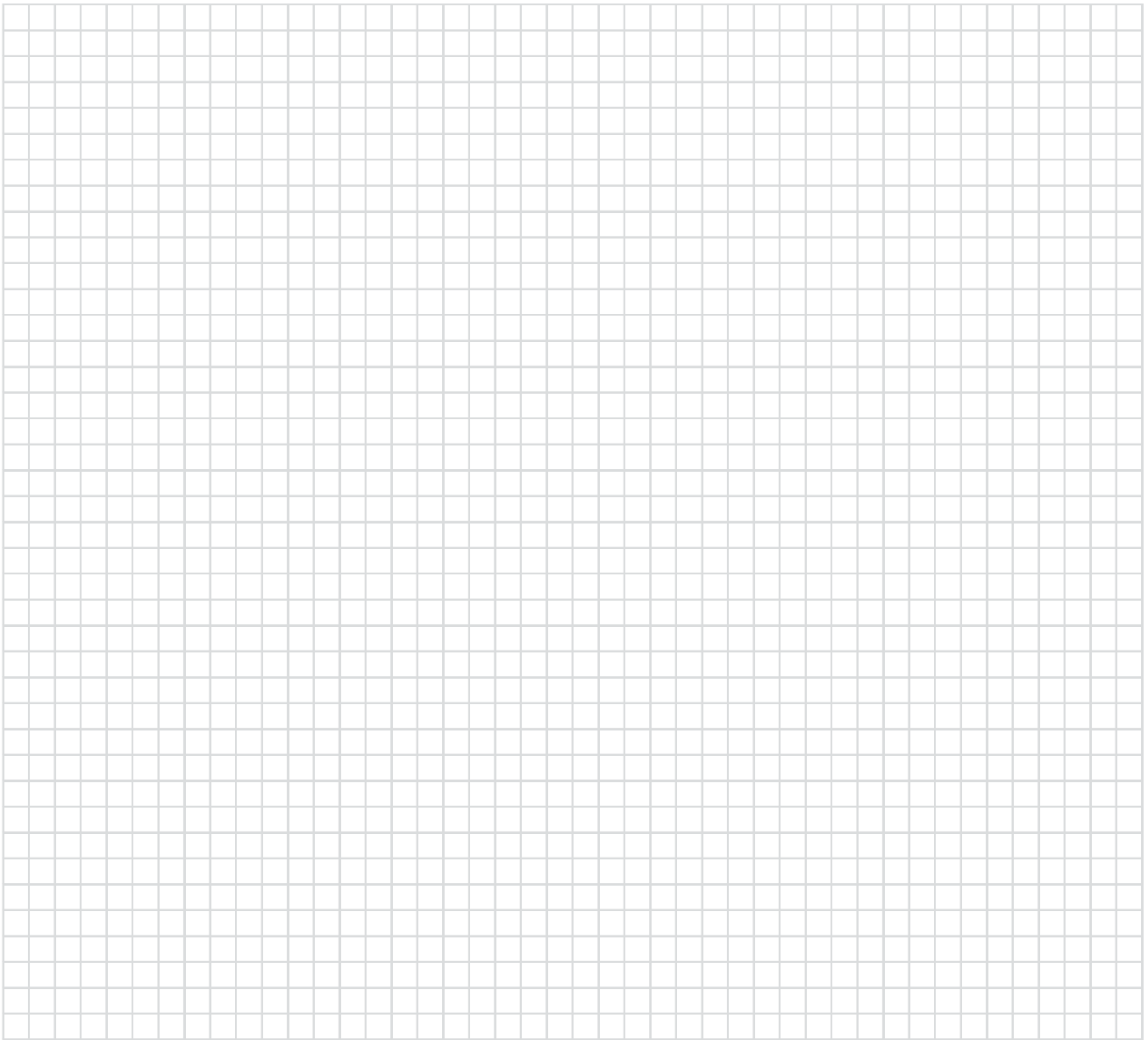
<学習課程>

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	備考	評価規準
導入	・教科書の資料1、3の公園と自分たちが普段利用する公園を比較する。	・目的や利用者の違いで公園の形態や設備などが異なることに気付かせる。 ・資料から多くの人がそれぞれの目的で公園を利用するにはルールが必要なことに気付かせる。		C、D
展開1	グループワーク① ・各班で、公園のイメージ図や利用者のルールをまとめた上で、完成したフリップの内容を説明する。	・設備や整備など、意見等が出やすいように助言をする。また、どのようなルールが必要か考えさせるように指導する。	・グループワーク①のワークシート配付	A、B
展開2	グループワーク② ・各班を3グループに分けて、共に利用できる公園のあり方を考えて、グループワーク①と同様のフリップを完成させ、グループワーク①から工夫した点を説明する。	・立場が異なる人たちが利用できるように工夫が施されているかを考えさせる。公園を利用する人の為だけのルールでよいのかどうかにも触れて話し合いさせる。 ・「合意」を得る努力をめざす話し合いができるよう促す。	・グループワーク②のワークシート配付	A、D
まとめ	・第三節全体を通して学習してきたことを踏まえ、ルールの意味やルールを作る上で大切なことをまとめる。	・学習活動を振り返り、気付いたことや自分なりに努力したことなどをまとめるよう助言する。		B

(評価規準 A：関心・意欲・態度 B：思考・判断・表現 C：技能 D：知識・理解)

グループワーク①      3年(    )組 (    )班    メンバー(    )

(1) 公園のイメージ図



(2) キャッチフレーズ

--

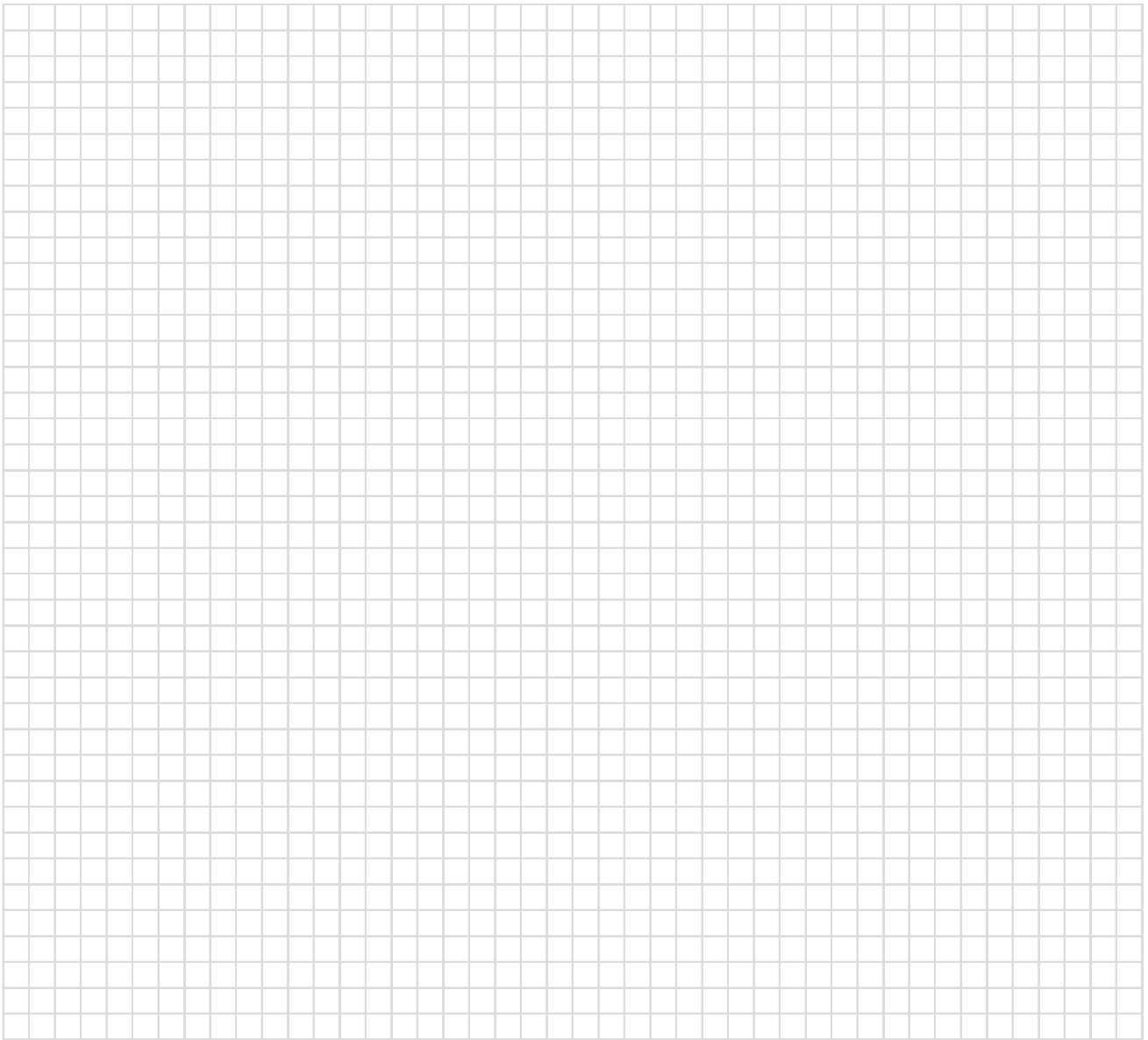
(3)工夫したところ

<ul style="list-style-type: none"><li>•</li><li>•</li><li>•</li></ul>
---

(柏原市立柏原中学校 参考資料)

グループワーク② 3年( )組 ( )班 メンバー( )

(1) 公園のイメージ図



(2) キャッチフレーズ

(3) グループワーク①から工夫したところ

- 
  
- 
  
-